

①要約:

このアイデアは、金融機関向けの不正検出を効率化するために人工知能とブロックチェーンを組み合わせるものです。金融機関の取引データを集め、それを機械学習モデルに組み込んで不正取引を検出し、ブロックチェーン上のスマートコントラクトによって不正を防止する仕組みです。

②目的:

この発明の目的は、金融機関間で不正検出のためのデータを共有し、効率的に不正を検出・防止することです。機械学習モデルを共有することで不正の手口の進化に対応し、金融機関同士が競合しながら不正防止に取り組むことを可能にします。

③新規性:

この発明は、金融機関がデータを共有し、ブロックチェーン上で機械学習モデルを共同で利用するという新しいアプローチです。従来は金融機関ごとに個別に不正検出を行っていましたが、この提案では異なる金融機関が共同で学習モデルを作成し、ブロックチェーンを利用して実装することで、効率的かつより強力な不正検出を目指しています。

④独自性:

この発明の独自性は、金融機関間でのデータ共有と機械学習モデルの共同利用による不正検出の手法です。既存のセールスフォースのクラウドソリューションに AI やブロックチェーンを組み合わせたサービスも提供されていますが、今回の提案は特に金融機関向けの不正検出に焦点を当て、それを効率化するための仕組みを提案しています。

⑤経済価値:

この発明には経済価値があります。不正取引の防止は金融機関にとって重要な課題であり、損害を最小限に抑えるためには効率的な不正検出が必要です。提案されている金融機関間のデータ共有と共同で利用される機械学習モデルのアイデアによって、不正検出の効率化が実現されると予想されます。これにより、金融機関は不正による損失の軽減、顧客の信頼の向上、リソースの効率的な活用などの経済的な利益を得ることができるよう。